

札幌生まれで生粋の札幌育ちの私は、1984年(昭和59年)に大学を卒業し、地元の建設会社を経て、平成8年に現在の会社に転職しました。建設会社籍中は技術士の存在すら判らずに、1級土木施工管理技士が土木業界最高峰の資格と信じていました。しかし、コンサル業界に入って技術士を知り、合格するための困難さに愕然とした記憶があります。やはりその困難さは的中し、牛歩の闘いが始まりました。RCCM取得後に技術士取得に本格参戦するが、途中で技術士補取得の義務付けによるまわり道もあり、やっとのことで平成21年に技術士登録しました。

私の専門は道路ですが純粋な道路計画・設計は確実に減少し、それ以外に従事することもあります。しかし、やるべきことは同じで費用対効果が高く維持管理し易いインフラの提供です。エンジニアとは、しっかりと技術を支えとした中で、エンドユーザーへの配慮など全体的なバランス感覚を兼ね備えた者でなければならないと考えていますが、今なお道半ばです。

今後の土木業界の先行きが不透明な中、会社内での道路関連部署としての立ち位置の模索や従事者の高齢化、土木離れで困難な新入社員の確保、中長期的な方針の設定など、問題は山積みです。

全国的な専門機関紙を見ると土木の凄さ、頑張り、必要性等々、小さな自分に活を入れてくれます。

今後はより一層、技術の充実や伝承に努め、柔軟な中にも芯を持った人となり、社業はもとよりあらゆることから社会に貢献していきたいと考えております。また、技術士の先輩・後輩との繋がりを大切に幅広く多くの方に出会えたら良いなと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 浜辺 孝一(はまべ こういち)

●建設部門(道路)

勤務先

株式会社シン技術コンサル  
e-mail : hamabe@shin-eng.co.jp



→次号は、清水秀俊さん(建設部門)

私は、古平町で生まれ育ち、高校は函館工業高等専門学校で5年間を過ごしました。高専卒業後、東京に本社のある会社に入社し、3年間の東京勤務を経て北海道に戻ってきました。東京には四季がない、子供を育てるなら四季がハッキリしていて自然が豊かな北海道しかない！という理由からでしたが、いざ戻ってみると、子供のころには感じなかった冬の厳しさを今は痛感しております。

4月に現在の会社に転職して、早いもので半年以上が過ぎました。弊社は河川・道路・構造・鉄道・技術開発・調査のグループからなるコンサルタントですが、鉄道の構造設計部門がある北海道では非常に珍しい会社です。

私は構造グループに所属しコンクリート構造物を主体とした設計業務を行っておりますが、社員は皆、日々の業務とは別に各々課題を持って解析や研究を行っていることが弊社の大きな特徴です。

現在はコンクリートの劣化に着目した構造性能の影響を研究しておりますが、積雪寒冷地における劣化と言えば凍害です。せっかく東京砂漠から北海道に戻ってきたのですから、冬の寒さに負けず、故郷のインフラ整備に貢献できるように日々勉強・研究を重ねていき、技術の研鑽をしていきたいと思っております。

## 坂本 智明(さかもと ともあき)

●建設部門(鋼構造及びコンクリート)

勤務先

北武コンサルタント株式会社  
t-sakamoto@hokubu-c.co.jp



→次号は、対馬一男さん(建設部門)